

刈谷市社協だより 2022

No.141

社会福祉法人 刈谷市社会福祉協議会

〒448-0024 刈谷市下重原町3-120 (刈谷市高齢者福祉センターひまわり内)

●Eメールアドレス▶ syakyo@kariyashi.jp

●ホームページアドレス▶ <http://www.kariyashi.jp/>



市社協ホームページはこちら



公式インスタグラムはこちら

公式Instagram更新しています♪



公式InstagramについてはP6へ

もくじ

● 令和3年度事業報告と決算	2	● 公式Instagramプロフィール写真コンテスト	6
● 令和4年度事業計画と予算	3	● 公式Instagramプロフィール写真作品展	6
● 令和4年度社会福祉協議会会員募集へのご協力ありがとうございました	4	● ふれあいの里夏まつり	7
● あなたの会費500円が、地域の福祉を支えています!!	5	● ご寄付ありがとうございます	7
		● こんにちは! 地区社協です♪	8
		● ボランティアの芽	8

令和3年度事業報告と決算

社会福祉協議会の取組みは、地域共生社会の実現に欠かせない活動を担っており、市社協においては、令和2年度から5か年の「第4次刈谷市地域福祉計画」を策定し、基本理念の「参加と支え合いで築く 共に暮らせるまち」を実現するために、様々な活動に取り組んできました。

国は、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という固定した関係ではなく、地域住民や地域の多様な主体が、世代や地域を越えてつながることで、誰もが支え合う地域を創っていく「地域共生社会」の実現を目指しています。これは、専門職だけで実現するものではなく、地域住民やボランティア団体、学校、隣近所など地域で生活するすべての人と人が関わり、つながることで創り上げていきます。

新型コロナウイルス感染症の影響は2年に及び、福祉健康フェスティバルをはじめ様々なイベントが中止を余儀なくされる中、本会の施設等は感染防止対策を徹底して運営を継続してきました。

また、感染症の拡大は社会経済に大きな影響を与えており、収入の減少や失業等の生活困窮者を支援するための生活福祉資金貸付事業への相談件数は、2年間で約7,200件に及び、7億円を超える貸付を行っています。

そのような中でも、様々な福祉課題について、自治会、ボランティア団体等の地域の皆様が、互いに助け合い、支え合う活動をするために組織された「地区社会福祉協議会」の活動に対しては、コロナ禍においても実施できる活動や、そのための手段をアドバイスしながら積極的に支援してきました。

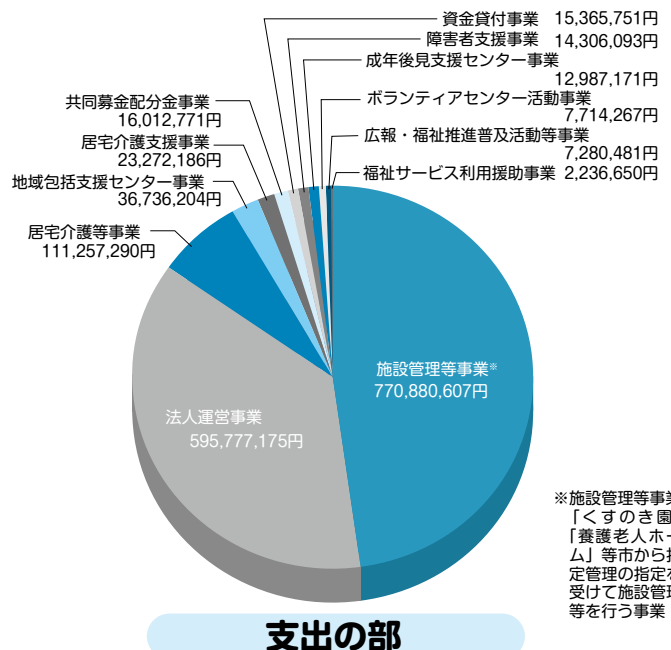
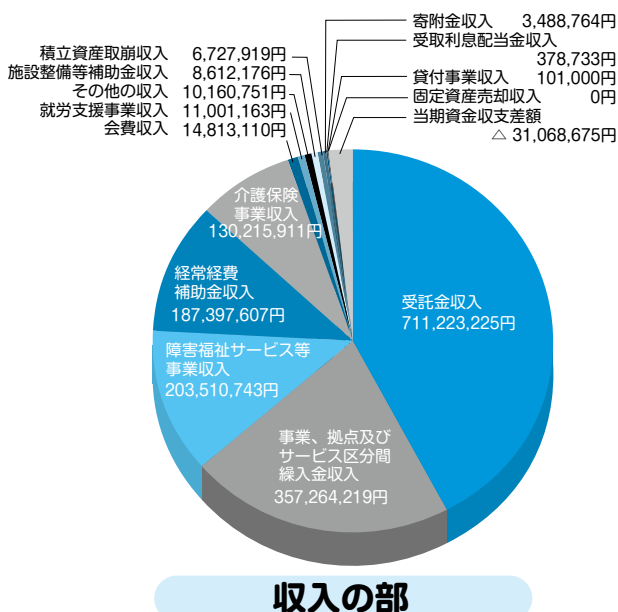
その他にも、老若男女、障害の有無にかかわらず誰もが一緒に楽しめる「ボッチャ」を通じて障害者スポーツの普及啓発に努めるとともに、本会の活動を周知しながら市民参加の機会を創出してきました。



▲ボッチャ大会

収入・支出決算額

1,613,826,646円



*施設管理等事業
「くすのき園」
「養護老人ホーム」等市から指定管理の指定を受けて施設管理等を行う事業

令和4年度事業計画と予算

本年度は以下の3つの基本目標を設定し、事業を行ってまいります。

1. 地域福祉の意識づくり ・担い手づくり

教育分野と社会福祉分野が連携し、地域福祉への興味関心を高めることは重要な要素の一つです。さらに、福祉に関する必要な情報を正しく得ることができるよう、分かりやすく情報を発信し周知啓発活動を進めることもまた、理解促進を促すことにつながり、新しい担い手発掘の一助になります。

そのため、幼少期から学齢期の子どもに対する学びの視点から、誰もが等しく受けることができる生涯学習の視点まで、幅広い福祉教育への取組を進めることで、一人ひとりを大切にする、違いや多様性を認め合いながらお互いの力を引き出して心のつながりをつくる、といった地域福祉の意識の醸成を図ります。

2. 支え合いの しくみづくり

誰もが生き生きとした人生を享受することができる共生社会の実現のためには、地域に住む人同士が存在を認め合い、住民同士で支え合うことが大切です。必要なときに適切な支援に結び付くことができるよう、平日頃から出てきた課題を地域全体で共有し、解決するしくみや基盤を地域で構築するなど、地域力の強化を図ります。

また、今後、超高齢社会を迎えるにあたって、団塊の世代を中心とした高齢者の行動力や経験に着目し、元気な高齢者が地域で生きがいをもって活躍できるよう、地域活動に参加しやすい環境づくりを推進します。

3. 安心・安全な 福祉のまちづくり

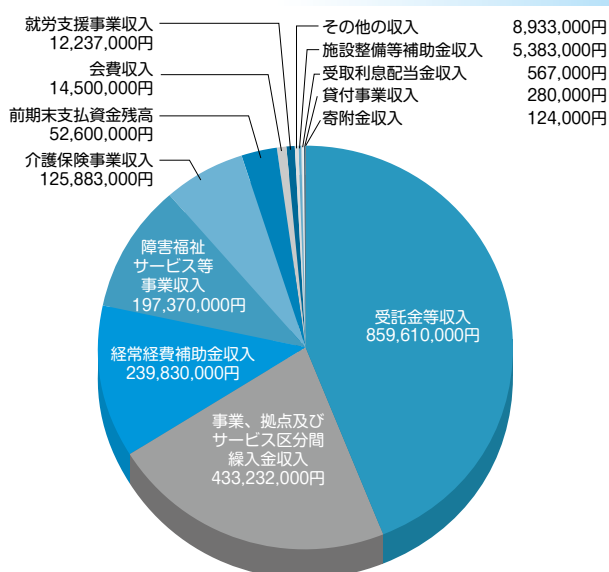
福祉サービスの充実や相談支援体制の強化のほか、移動手段の充実、防災・防犯対策、施設や道路の整備など、生活環境の向上に注視した都市環境づくりを進めることは、誰もが快適に過ごせるまちを目指す上で非常に重要です。

そのため、市や市社会福祉協議会、各支援機関がそれぞれの果たす役割を理解し、福祉ニーズに適切に対応できる福祉サービスや相談拠点の充実を図るとともに、地域の中での防犯活動や災害に備えた活動などを支援することで、誰もが安心して暮らせるまちづくりを行います。

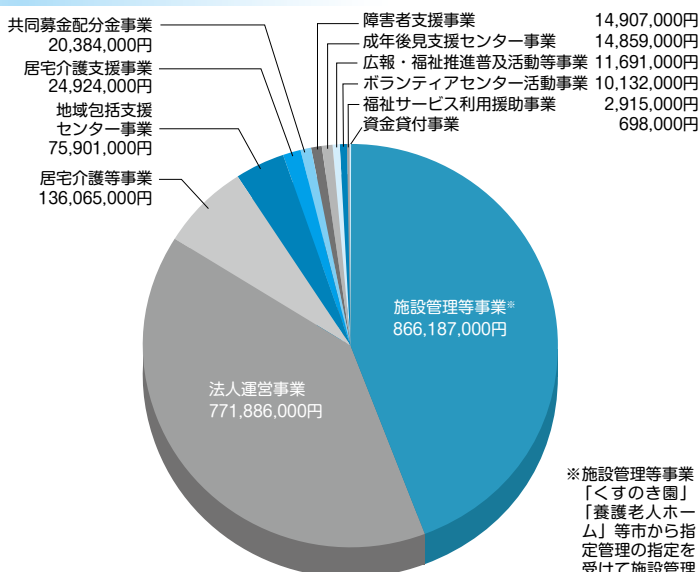


収入・支出予算額

1,950,549,000円



収入の部



支出の部

※施設管理等事業
「くすのき園」
「養護老人ホーム」等市から指定管理の指定を受けて施設管理等を行う事業

詳しくは、総務課総務係 (TEL29-0888、FAX27-0678) へ

令和4年度刈谷市社会福祉協議会会員募集への ご協力ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症がまん延する中にもかかわらず、地域の皆さま一人ひとりのご支援ならびに自治会の皆さまのお力添えにより、**13,089,380円**もの会費をお寄せいただきました。

	一般会員	特別会員	法人会員	合計
会員数 (件)	25,086	205	122	
会費 (円)	12,557,880	243,000	288,500	13,089,380

会員加入状況 (令和4年3月31日現在)

◆社会福祉協議会(社協)とは

社会福祉法に基づき地域福祉の推進を目的とする社会福祉法人です。

社協は、地域に暮らす住民、保健・医療・教育など関係機関や企業などの参加のもと、地域に暮らす「すべて」の人々が暮らしやすい街の実現をめざした様々な活動を行っています。

活動の主な財源は、皆さまから寄せられた会費や寄付金、市からの委託料や補助金です。

◆社協の会員とは

社協の会員とは、「賛助会員」であり、地域福祉の推進のための事業に賛同し、会費を納入した人を表します。

「地域のために何か役立つことをしたい」「気持ちはあるけれど忙しくて時間がない」という人が会費を払うことで気軽に地域福祉の推進に参加できるしくみとなっています。

※会費の取りまとめは、お住まいの地区の自治会にご協力いただいています。

◆地域福祉の推進のために

自分たちの地域を住みよい街にするためには、「自分たちで知恵を出し、お金を出して、地域の課題を解決する、共助のしくみ」が大切です。

そのため、住民一人ひとりの参加が必要であり、皆さまに会費のご協力をお願いしています。

◆会員のメリットとは

社協はすべての住民を対象として事業を実施しており、会員限定にメリットがあるわけではありません。

なお、法人会員はホームページバナー広告を会員価格で掲載することができます。

◆◆自治会を介した会費の取りまとめに関するご理解とご協力をお願いします◆◆

会費の取りまとめや納入については、身近である自治会の皆さまにご協力をお願いしています。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

会費は、刈谷市の地域福祉活動の資金として活用しています。
「参加と支え合いで築く、共に暮らせる街」の実現のために、
皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

▶詳しくは、総務課総務係 (TEL 29-0888、FAX 27-0678) へ

皆さまから
幸せの音が
届いています。

あなたの会費500円が、地域の福祉を支えています!!

(500円の主な使い道は、以下のとおりです。)

1 147円が、地区社協への活動支援などに使われます



「福祉委員会から暑中見舞いのハガキが届いており、心温まる内容に、地域の方に見守られているという安心感とともにうれしさが込み上げてきた。」

(一人暮らし女性の別居家族)



2 106円が、地域福祉活動の支援のために使われます



「(車椅子に乗った講師に対して) 教えてくれてありがとう。また一緒にボッチャをしたい。」

(ボッチャ体験利用者小学3年)



3 86円が、広報・啓発活動の充実のために使われます



「市内にこんなにたくさんのボランティアさんがいることを知り、刈谷の活気に触れ、幸せな気持ちになった。」

(福祉・健康フェスティバル参加者)



4 84円が、未来を担う子どもたちへの福祉教育の充実のために使われます



「車椅子に乗ってまちに出かけたら、エレベーターの扉を押さえてくれる人に出会え、優しさに触れた。」

(車椅子体験塾参加者中学1年)

「視覚障害のある人の話を聞いたので、困っている人をまちで見かけたら、『何かお手伝いをしましょうか』と声をかけたい。」

(福祉実践教室参加者小学5年)



5 77円が、敬老会などの事業の支援に使われます



「長寿を祝ってもらい、ありがたい。これからも住み慣れた刈谷で、元気に過ごしたい。」

(敬老会参加者100歳)



公式Instagram プロフィール写真コンテスト



Instagram開設に伴い、プロフィール写真（アイコン）に使用するイラストを募集し、34作品が集まりました。

今年度は、すぎな作業所に通う林穂野香さんの作品を採用することに決定しました。

インタビュー

Q. すぎな作業所では、どのような仕事をしていますか？

A. ゴムのバリ取り、ネジの選別、シール貼りです。

Q. 今回のイラストへの思いは？



A. 週1回絵画教室に行っており、畑で行う農芸やひまわりの歌から思い浮かぶ“ひまわり”を書きました。

Q. 次回も応募してもらえますか？

A. もちろん参加させてください！
絵を描くことが大好きなので、2連覇したいです♪



すぎな作業所 林穂野香さん

すぎな作業所にて
好評販売中！

すぎなコーヒー
(1個 150円)



すぎなコーヒーのパッケージデザインにも
林さんのイラストが採用されています！

公式Instagram プロフィール写真作品展



5月2日(月)から31日(火)まで、高齢者福祉センターひまわり1階で全34作品を展示しました。この作品展の目的は、施設利用者と公式Instagramをより多くの人に知ってもらうためです。“ひまわり”をイメージし、思いを込めて描いたイラストと共に、施設利用者の笑顔も満開になりました。



KARIYA_SHAKYO



公式InstagramはQRコードを
スキャン！

▶詳しくは、総務課 (TEL 29-0888、FAX 27-0678) へ

ふれあいの里夏まつり



令和4年9月3日(土)に開催予定の「ふれあいの里夏まつり」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場者及び関係者の健康と安全を最優先に考え、参加者や催し物を制限した内容で検討をしています。

夏まつりの開催を楽しみにしていただいていた皆さまには、ご理解賜りますようお願い申し上げます。



詳しくは、ふれあいの里夏まつり実行委員会事務局 (TEL28-5441、FAX25-8496) へ

「ご寄付ありがとうございます」(敬称略・順不同)

(令和4年2月1日～4月30日)

善意の寄付

岩瀬道久、望月かよ子、渡邊美穂子、第一生命労働組合豊田支部、(社)全国肢体不自由児・者父母の会連合会、(株)小垣江鉄工所、(株)サンスタッフ、平成20年度小垣江地区委員OB会

書き損じはがき

安藤亨、安藤円、鵜殿綾子、神谷弥生、川上吉子、木村隆、木村俊子、興柁朋江、仲野ひとみ、野村高師、深谷和弘、松永舞人、加藤精工(株)、(株)小垣江鉄工所、(株)豊田自動織機、刈谷郵便局、小垣江小学校、亀城小学校、住吉小学校、東刈谷小学校、富士松北小学校、富士松南小学校、双葉小学校、雁が音中学校、富士松中学校、小垣江市民センター、東刈谷市民センター、富士松市民センター、北部市民センター

ベルマーク

稲垣、江川紀世子、加藤加代子、神谷弥生、興柁朋江、白井進、鈴木勇夫、鈴木かづ子、柘植君子、中野聡子、畠山麻子、畠山睦子、平野秋子、深谷和弘、藤田理恵、水野勝浩、森めぐみ、山口きよこ、井ヶ谷美の里会、加藤精工(株)、(株)田口金物店、刈谷病院、亀城堂、岳泉、中央プラントック(株)、(有)落合鉄工所、小垣江市民センター、東刈谷市民センター、富士松市民センター

使用済み切手

タリ、北部市民センター

使用済みプリペイドカード

神谷弥生、白井進、深谷郁衛

稲垣、鵜殿綾子、江川紀世子、大矢睦子、桶谷佳子、加藤紘、上中和子、上中敬三、神谷弥生、川上吉子、興柁朋江、酒井彰仁、佐藤章子、鈴木勇夫、柘植君子、中野聡子、中野誠二、丹羽早苗、日紫喜廣行、平野秋子、深谷郁衛、藤田理恵、松永舞人、三浦優子、森本ノブ子、山口きよこ、秋田工業(株)、井ヶ谷美の里会、イコマ製作所、イズモ葬祭、AHI、加藤精工(株)、(株)Eco、(株)石川研磨、(株)小垣江鉄工所、(株)神和工業所、(株)田口金物店、(株)ツル夕製作所、(株)天宝、(株)東陽、(株)豊田自動織機、(株)日本スチールチェイン製作所、(株)モリタ刈谷営業所、(株)依佐美、刈谷病院、シブヤパイピング工業(株)三河営業所、中央プラントック(株)、中野MONOテック、ロジール(株)、ひかりの家、広瀬クリニック、モアークレストサロンBELLE、(有)井上製作所、(有)都築食品加工、ユケン工業(株)、刈谷東高校、小垣江市民センター、東刈谷市民センター、富士松市民センター、北部市民センター

こんにちは！ 地区社協です♪

自分が住んでいるまちの課題を自分たちで解決できるよう、ニーズに合わせた様々な活動をしている組織です。刈谷市では、市を北中南の3つのエリアに分けて地区社協が設立されています。

また、より細かいエリアごとに設立された福祉委員会が、地区社協を構成している地区もあります。

活動紹介 ー南部地区社協 半城土福祉委員会ー

半城土福祉委員会では、地区内の希望者を対象として、自治会の協力のもと「見回り活動」を行っています。見回り活動とは、自治会の班長が対象者に月2回市民だよりを直接手渡しすることで、安否確認を行う活動です。

この活動は、日常的な見守りを目的としていて、手渡し時に会話をすることでつながりづくりのきっかけにもなっています。



もっと活動を知りたい人は▶
地区社協ブログへ♪



北部
地区社協

中部
地区社協

南部
地区社協

支援

支援

刈谷市

連携

刈谷市
社会福祉協議会

▶詳しくは、生活支援課相談支援係 (TEL23-1600、FAX25-2498) へ

ボランティアの芽

土城の会 (どじょうのかい) ー半城土ボランティアー

「何か地域に貢献できることはないか」半城土消防団OBの有志が、「ボランティア活動を通じ、半城土地域の発展に寄与する」・「会員相互の親睦を図る」を目的に、「半城土」の2文字をもらって、会の名称を「土城の会」(どじょうのかい)とし、昭和54年4月に約20人で発足しました。以降、会員も増え、さまざまなボランティア活動に取り組みました。資源ゴミを出すルールが

守られず、地域が困っていたので「立ち番」を行い、モラル改善に繋がりました。歴史的価値の高い世界的な産業遺産である依佐美無線送信所の施設見学会を実施し、地域の知名度が向上しました。国道419号線路肩のごみ拾いが、現在の朝日中学校ボランティア清掃活動に結び付きました。最近では、環境美化として森前川の堤防路肩清掃を年3回程行っています。



平成8年8月 依佐美無線送信所見学会当時の施設
(写真提供: 依佐美送信所記念館ガイドボランティアの会会員 正木知章撮 1997年3月)



令和4年4月 森前川堤防清掃活動